学 校 通 信　No.12

緑 が 丘

－「自分できめる」「みんなと決める」－
～今日も「学校が楽しかった」～

令和8年　3月　25日発行　　三木市立緑が丘小学校

春 風 往 来　～ ありがとうございました。～

第53回卒業生62名が、いい顔で本校を巣立っていきました。「おめでとう」と「ありがとう」がいきかう季節です。
23 日の卒業式を待っていたかのように気温もあがり、春風の往来を肌で感じるようになりました。

児童数304名でスタートした令和7年度。転出入があり 306 名、元気に修了することができました。そして4月には、51名の新入生が入学してきます。

本年度は、子どもたちの自然な関わり合いが生まれることを期待し、教室の配置を見直しました。また、より多くの目で子どもたちに関りたいと考え、低学年からの交換授業を継続し、高学年の教科担任制を広げました。保護者の皆さま、地域の皆さまと一緒に、より多くの関わり、多面的多角的な見方の中で子どもたちは、それぞれの良さを発揮し元気に学校生活を送ることができました。本当にありがとうございました。

さて、次年度より、コミュニティスクール(学校運営協議会制度　以降 CS と表記)を導入いたします。CS は「学校運営協議会」を核とし、保護者、地域住民が知恵を出し合い、一体となって学校づくりを進める仕組みです。学校と保護者、地域住民が「どんな学校にしたいか、子どもを育てたいか」を共有し、連携・協働するしくみです。地域の豊かな経験や技能を教育に活かせるため、子どもたちの生活が充実し、自己肯定感が向上するほか、大人どうしのつながりにより、より安全・安心な地域づくりや防犯体制や子育てネットワークの強化が期待されています。本校は、これまでも「緑が丘」という地域、環境、関係機関、保護者の皆様に支えられて教育活動を行ってまいりました。個々のモチベーションや思いに加えて、システム化していくことで何ができるのかワクワクします。それぞれができることをできる範囲で出し合うことで＋(たし)算でなく×(かけ)算での魅力ある学校づくりをすすめられたらと考えています。これまでと変わらない、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、今後もみんなが**「今日も学校が楽しかった」**と思える学校、更新続ける学校でありたいと思います。本年度、ご理解ご支援いただきました全ての皆様に感謝申し上げます。子どもたちはもちろん全ての皆様にとって一歩進むよい春になりますように･･･。

本当にありがとうございました。　（校長　　佐野　順子）

おしらせ
うさぎ ふたご

みみのさきの
すべすべ　やわらかいところが
いちばんさきに
はるになります

それから
しばらくして
のはらじゅうが
はるになります

くどうなおこ『のはらうた』より